
死後

そこぬけ。

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

死後

【Nコード】

N6779C

【作者名】

そこぬけ。

【あらすじ】

地獄で閻魔大王が罪人を裁く話。

ここは地獄。

あたりは薄暗く、断末魔がいたるところから聞こえてくる。男の叫びもあれば、若い女、子供や老人までいるようだ。

新しく地獄にきた死者たちは閻魔大王に会わなければならない。なぜなら現世で犯した罪に対し罰を受けるためだ。昔は一人ずつ罪の重さに合わせて罰していたようだ。だが、あまりにも罪人が増え続けているため、罪状別に裁くようになってしまった。

閻魔大王が罪人を裁いている。

閻魔「殺人を犯した奴らは、針山で串刺しだ」

殺人犯「い、いやだ！助けてくれ！」

閻魔「だめだ、自分のしたことを後悔するんだな」

次に、飲酒運転者達が裁かれた。

閻魔「お前達は飲酒運転で多くの人を傷つけてきた。

血の池で反省しろ」

盗みを犯した奴らの番がきた。

閻魔「お前らは全員、釜茹でにしてやる」

窃盗犯「盗んだだけに、ひどすぎる！」

閻魔「ひどい？お前たちのせいで自殺をした奴もいたんだ！」

悪魔たちが、盗みを犯した罪人を釜茹での部屋へ連れて行く。
閻魔大王が怒鳴った。

閻魔「何をやっている！お前たちもさっさと行け！政治家！！」

(後書き)

政治家は国家が認めた泥棒だと思っんですよ。
年金泥棒に税金泥棒。

きつと相手は言い返せないだろっなあ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6779c/>

死後

2010年12月26日02時22分発行